

2019年12月号へのご意見

教師主導の外発的動機づけの再考を

12月号の特集の座談会で言われていた「受験勉強が目的化している」は、まさにその通りだと思った。生徒が身につけるべき資質・能力が変わる中、私たち教師の指導が変わらないことに焦りを感じている。主体性の低い生徒を目の前にすると、どうしても教師主導で外発的な動機づけをしてしまっているのが現状だ。そうした指導を見直すべきと、指摘されているような気がした。

石川県 匿名希望

「未来は現実から切り開くもの」と悟らせたい

12月号の特集で、岡山県立倉敷青陵高校の田中誠一郎先生が語っていた「自分の可能性について考えたり、自分の思い描くキャリアと実社会を照らし合わせたりすることは、生徒の成長にとって必要なプロセス」「生徒の心を揺さぶり、葛藤させる場を意図的につくる」という意見に同感だ。生徒の多くは、社会がどのようなのか、新聞等で報道されている事柄が自分の将来とどうかかわるのか、教師が示さないと、自分事として捉えることがなかなかできない。自分の未来を現実の中に見だし、たくましく未来を切り開いていくことを、生徒に悟らせたいと考えている。

和歌山県立橋本高校 寺田順子

資質・能力の育成をする課題や定期考査に

「高3・0学期の指導」がテーマだった12月号の特集

を読み、新しい学力観に対応するためには、生徒の主体的な学習をいかに支援していくかが鍵なのだと分かった。私は、日々の課題や定期考査は、授業内容の確認を目的に行くと捉えていたが、作問の工夫などによって資質・能力の育成を目指した場になるというのは、自分にとって新しい気づきだった。

静岡県 匿名希望

志を高く、主体性を持たせるために

12月号「指導変革の軌跡」の岡山県立笠岡高校の取り組みは、学習態度が受け身になりやすい生徒に、いかにして「志」を高く持たせるかが課題である本校にとって、とても参考になった。本校でも地域と連携した探究学習を行っているが、生徒がいかにして主体的に課題に向き合うように活動を進めていけばよいのか、指導改善を図る必要があると考えさせられた。

和歌山県 匿名希望

自分が支えられている言葉を後輩に伝えたい

12月号「教師を育てた言葉たち」の岡山県立総社高校の三村美紀先生が語ったエピソードを読み、教師は先輩教師や家族の言葉に支えられているのであり、そうした言葉を後輩の教師に伝えていくことが大切だと感じた。私は、生徒に「素直さと闘争心が大切」と常に伝えているが、それは教師にとっても同じだと思っている。

愛媛県立松山北高校 大谷修一

OFF SHOT



「働き方改革」という言葉を学校で聞くことが多くなりました。弊社も、在宅勤務など、様々な取り組みをしています。その中で、働くオフィス環境も話題に上がります。私も、よいオフィス環境はどのようなものか、よく考えています（オフィスにはあまりないのですが、笑）。今号の特集の取材で訪れた北海道・私立札幌新陽高校の職員室は、いわゆるフリーアドレスと呼ばれる形で、自分の机を持たず、好きな場所に座るような形式になっていました。個人情報を取り扱うことが多い学校ならではの工夫として、グレーのじゅうたんは教師のみが出入りできるエリア、グリーンは生徒と教師の両者が使えるエリアなどと区分けしていました。「目的」をしっかりと共有できていれば、「形式」が変化したとしても、柔軟に対応できるはず。札幌新陽高校の改革の勢いを感じました。（荻原）

『VIEW21』高校版 公式アカウント

LINE@

友だち募集中!

『VIEW21』高校版や教育に関する最新情報をタイムリーにお届けします。*お友だちの登録方法は、右の2次元バーコードを読み取っていただくか、LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」とご入力いただき、追加をお願いいたします。



VIEW21 高校版 2020 4 月号

次号は 4月15日発行 (予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です